

# 会 議 録

会議の名称	第1回藤井寺市環境保全審議会
開催日時	令和8年2月13日(金) 14時00分から15時00分
開催場所	藤井寺市役所 厚生棟 研修室
出席者	<p>【藤井寺市環境保全審議会委員】          鯉坂委員、家田委員、伊藤委員、尾上委員、          清水委員、森委員、山田委員(五十音順)</p> <p>【事務局】          岡田市長、松田市民生活部長          森本次長兼環境衛生課長、寺田主幹(記録)、古川チーフ、五島副主査</p>
会議の議題	<p>1. 開会                      2. 市長挨拶                      3. 委員委嘱</p> <p>4. 委員紹介                5. 会長・副会長の選任                6. 会長・副会長挨拶</p> <p>7. 諮問                      8. 会議録の作成方法・会議の公開について</p> <p>9. 議事</p> <p>    (1) 現状の藤井寺市ごみ行政について</p> <p>    (2) 市民アンケートについて</p> <p>    (3) 今後の進め方について</p> <p>10. 閉会</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第                      ・審議会委員名簿                      ・座席表</li> <li>・【資料1】現状の藤井寺市ごみ行政について</li> <li>・【資料2】アンケート依頼文、回答用紙、設問</li> <li>・【資料3】今後の進め方について</li> <li>・藤井寺市環境保全基本条例                      ・藤井寺市環境保全審議会規則</li> <li>・第1回開催通知</li> </ul>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 会議の出席委員全員の確認を得ている
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人

## 議 事 要 旨

### 1. 開 会

### 2. 市長挨拶

- ・岡田市長より挨拶

### 3. 委員委嘱

### 4. 委員紹介

- ・委員紹介
- ・委員会の成立を確認
- ・事務局の紹介

### 5. 会長・副会長の選任

- ・委員の互選により、会長に鯉坂委員、副会長に尾上委員をそれぞれ選出

### 6. 会長・副会長挨拶

- ・鯉坂会長、尾上副会長より挨拶

### 7. 諮 問

- ・岡田市長より委員会に対して、ごみの減量及び再資源化にあたり方針等策定に向けた有効な施策について諮問
- ・岡田市長退席

### 8. 会議録の作成方法・会議の公開について

- ・会議録の作成方法を要点記録とする旨を確認し、承諾。
- ・会議を原則公開とすることについて確認。非公開とする場合は案件ごとに会議に諮り決定することとなった。

### 9. 議 事

(1) 現状の藤井寺市ごみ行政について

#### 【資料の説明】

- ・ごみ減量・再資源化の必要性
- ・本市のごみ処理体制の説明
- ・ごみ排出量・リサイクル率等を全国・大阪府下自治体と比較
- ・目標と今後の見込み

#### 【委員からの質問等】

尾上副会長：

焼却場の建替えを予定しているとのことだが、地元との関係性は、特に反対等はないのか。

事務局：

3月に長寿命化計画が策定され、それにより基幹改良工事が必要という流れとなると聞いてい

る。建替えに関しては十数年後に想定されていることから、現時点で地元等周りの住民の方々に認識されていないような状況かと思われる。

尾上副会長：

焼却場はどこに建設されているか。

事務局：

柏原市と羽曳野市の行政界付近に建っており、8割方柏原市となっている。

山田委員：

柏原市・羽曳野市・藤井寺市のリサイクル率等が大阪府下で悪い理由はなにか。

事務局：

大きな要因は分別種別が少ないことと考えている。現在、プラスチックごみに関しては三市協力して令和11年度を目標に分別できるよう進めているところ。

それに加え、本市ではごみの減量・再資源化に向けた取組みを進めたいと考えており、このように審議会を設置し、意見をいただこうとしている。

森委員：

基本的には山田委員と同じ意見だが、事業系ごみについて、私なりに政令市である堺市を選んで藤井寺市と比較してみた。結果1.25倍と多い。事業系ごみを軽減することが必要と考えている。

## (2) 市民アンケートについて

### 【資料の説明】

- ・市民の意識調査や意見を聞き、政策に反映させることを目的としている。
- ・市公式LINEを利用。対象者は15,000人。他市在住の方は対象外だが、本人の申告に基づくため除外はできない。1アカウントにつき1回の設定は可能。
- ・LINEアンケートで統計学上の必要なデータ数(400件)はクリアできると思うが、無作為抽出として100~200件ほどの紙ベースでのアンケートも実施予定。
- ・本会議で内容を精査いただき、3月上旬には発信したい。同月中に紙ベースでも発送し、一定の回答期間を設けて、5月には集計し、6月頃に予定している次回の審議会にお示しできるような想定をしている。

### 【委員からの質問等】

尾上副会長：

藤井寺市では、剪定ごみを通常のごみ出しでは対応していないのか。それはなぜか。

事務局：

本市では剪定ごみを通常の収集では取り扱っていない。処分が必要であれば自ら焼却場に搬入するか、市に有料で依頼してもらう。

そのようになった理由は明確ではないが、本来剪定した業者に処理してもらうものとして取り扱っていることが現時点でも続いていると考えている。

鯉坂会長：

資料1のような、藤井寺市の現状が示されたうえでアンケートに答えてもらうのと、そうでな

いとは、答えは変わってくるのでは。このあたりについては検討されたか。

事務局：

検討した。同様に考えていたが、アンケートの回答だけでも15分ほど時間を要する。それに加えて現状の情報を掲載すると、更に時間を必要とすることから、アンケートの回答数に影響することを懸念し断念した。

山田委員：

それでは、リンクやQRコードなどを活用し、興味のある人は閲覧できるようにすればどうか。

鯉坂会長：

たしかに、実情を把握したうえでアンケートに答えてもらったほうが良い意見がもらえる。啓発の一環にもなると思うので、検討いただきたい。

事務局：

了解した。

(3) 今後の進め方について

**【資料の説明】**

- ・ 審議会の位置づけを図面で説明
- ・ 令和8年度中にごみの減量・再資源化に向けて審議・検討していただき、令和9年度上旬には答申いただきたいと考えている。
- ・ 答申後は、本部にて方針を策定し、内容に応じて基本計画の見直し、住民への説明などを行う。

**【委員からの質問等】**

尾上副会長：

これから審議・検討するにあたり、アンケートの結果とともに、他の自治体の先行事例を参考にしたいので、次回に示していただきたい。

事務局：

了解。

鯉坂会長：

これで、議事終了とする。最後に、事務局へ今後の内容を確認する。

事務局：

議論いただいた内容を精査し、次回審議会ではアンケート調査の結果の報告及び他市の先行事例をお示しする。

今会議は公開となる。会議録は会長確認の上、市HPに掲載予定。

次回審議会は6月を予定している。

10. 閉 会